

科目名	失語症Ⅲ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年	前期	必修・選択	必修

## 〔授業の目的・ねらい〕

成人における言語障害について、失語症を中心として、定義、鑑別診断、症候、タイプや重症度、予後を理解すると共に、基礎的な評価法と記録、分析方法を身に付ける。

## 〔授業全体の内容の概要〕

失語症について医学的観点からその基礎となる領域について学ぶ。

## 〔講師の実務経験〕

## 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

失語症の基礎知識の確認と臨床現場の症例の訓練計画について

回数	講義内容
1	失語症の基礎知識
2	失語症の検査・評価
3	失語症の訓練
4	非流暢の訓練
5	流暢の訓練
6	嚥下 失語症と関わりを交えて
7	聴覚失認 //
8	発語失行 //
9	失読・失書 //
10	失行 //
11	視覚失認 //
12	半側空間無視 //
13	構成障害 //
14	記憶障害 //
15	認知症 //

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
失語症臨床ガイド		協同医書出版社
失語症臨床標準テキスト		医歯薬出版株式会社

## 【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。